



平成31年度までに70品目での活用を目標 「統一ロゴマーク」で群馬県産をPR!

■ 県産農畜産物のブランド力を向上!

県産農畜産物の認知度向上・ブランドイメージを高め、流通業者等による取扱いの拡大、消費者の購入拡大により、農業者の所得向上・経営安定につなげるため、県産農畜産物に「ぐんまの農畜産物」であることを印象づける「統一ロゴマーク」を制作しました。

昨年の6～7月にデザインを公募し、計59点の応募があり、平成28年9月15日に写真のデザインに決定しました。親しみやすく、一目見て「群馬県産」であることがわかるマークになるよう、本県のマスコットキャラクター「ぐんまちゃん」を使用しています。

群馬県ではキャベツやキュウリ等20品目以上の農産物が全国生産量5位以内に入ります。こうした認知度が既に高い品目と、これから認知度を高めていく品目が同じロゴをつけることで農畜産物全体の認知度・ブランド力の底上げを図り、平成31年度までに70品目で「統一ロゴマーク」の導入を目指しています。

■ JA佐波伊勢崎のなす、きゅうりからPR!

JA佐波伊勢崎では、なす・きゅうりの選果場を新設し、4月から稼働しています。この施設は、無落差式を採用しており作物を傷めない選果が可能で、規格や等級を画像により自動選別でき作業の省力化も図れる高性能機械を導入しています。ここから出荷されるなすときゅうりの出荷箱には「統一ロゴマーク」が印刷され、現在、東京シティ青果(株)に出荷されています。

ぐんまブランド推進課によると、平成29年5月15日現在で「統一ロゴマーク」の使用申請数は23品目となり、キャベツやなす、きゅうり等の出荷段ボール、こねぎや枝豆のFG袋の他、上州牛や上州麦豚、こんにやく製品等で「統一ロゴマーク」が活用されています。



JA佐波伊勢崎なす出荷箱の様子



JA佐波伊勢崎きゅうり出荷箱の様子



東京シティ青果(株)本社ビル



県産農畜産物「統一ロゴマーク」のポスター